

代表質問

石田しんじ 議員 (民・無)



東京2020オリンピック・パラリンピックについて

- 問** 区のごみ対策への取り組みは？
- 答** ポイ捨て防止のため、多言語対応をして啓発に努める。
- 問** 羽田空港機能強化について今後のスケジュールは？騒音・落下物対策など国・都との連携は？また飛行ドモンストレーションを提案するが考えは？
- 答** 具体的なスケジュールは示されていない。都と連携して区民の不安を払拭するよう国に求め、試験飛行においても引き続き実施を国に求めていく。
- 問** 区民優先や子どもたちの招待、ボランティアなど区民の参加に向けての取り組みは？

- 答** しながわサポーターを編成して機運醸成に取り組み、競技連盟と連携し区民への招待席や入場時のエスコートキッズ等要望している。
- 問** パラリンピックの成功に向けての取り組みは？
- 答** 体験教室や国際大会の開催などを行い成功に向けて取り組んでいる。
- 問** 感染症対策について、ボランティア従事者や小中学生に対するワフチン接種助成や啓発等の取り組みをするべきでは？
- 答** 接種率の向上に努め、医師会等関係機関と連携していく。

防災対策について

- 問** 避難所マニュアル改訂に向けてどのように女性や障がい者等の視点を盛り込むのか？
- 答** 専門アドバイザーを派遣して様々な視点を反映させ更新する。
- 問** 今後どう災害協定を結ぶのか？
- 答** 現在の協定を維持しつつ相互援助協定によらない受援の仕組みについても活用していきたい。
- 問** 観光客や外国人への対応は？
- 答** 滞在できない方は帰宅困難者向けの施設に収容する。外国人へは外国語による災害情報を提供する。
- 問** ペット対策をどうしていくのか？
- 答** 講座を引き続き開催し啓発、避難

- 問** 所への受け入れ体制を具体化する。区民サービス向上について
- 問** 情報発信について見せ方やターゲットニングをどのように行うのか？
- 答** SNSやアプリを活用し伝える対象や内容によりメディアを適切に選択しながら重層的に伝えている。
- 問** AIやIoT等の活用や取り組み強化をするべきと思うが考えは？
- 答** 専門的知見も活用しながら研究を進めていく。
- 問** 今後、利用の多い期日前投票にどう取り組むのか？
- 答** 受付方法の見直しによる待ち時間の短縮などを行い、利用率向上に努めていく。
- 問** ふるさと納税について、寄附してもらえようという取り組みは？
- 答** 地域振興基金への寄附を対象に加えるなど工夫していく。
- 問** 区が設置しているWi-Fiのセキュリティ対策は？
- 答** 暗号通信、フィルタリング、ウイルス対策等を施している。
- 問** 福祉・子育てについて
- 問** 今後の待機児童対策、ニーズの把握や在宅子育て支援について、どのように取り組むのか？
- 答** 保護者の意向調査を行い、在宅子育て支援も検討する。

- 問** 障がい者雇用について、企業へどのような支援を行っているのか？
- 答** 情報提供や職業指導など様々な相談に対応し、支援していく。
- 問** 働く世代のがん患者の復職についてどのような取り組みを？
- 答** 社員の健康管理の重要性を訴え、正しい知識を得られるよう普及啓発を行い、理解を進めていきたい。

教育について

- 問** プログラミング教育について、外部人材の活用を含め、どのように取り組むのか？
- 答** 平成30年度から6校で推進し、外部講師や地域ボランティアの活用も含めて全校展開に活かしていく。
- 問** ダイバーシティの取り組み
- 答** 働き方改革を進める企業に対しての支援の取り組みは？
- 答** 改革に取り組み企業に対して奨励金を交付するなど拡充を図る。
- 問** 公契約について
- 問** 今後の公契約の取り組みは？
- 答** 新たな仕組みを検討していく。
- 問** まちづくりについて
- 問** 五反田のまちづくりについて、地域住民はもちろん、在勤在学の方の声も反映するべきと考えるが？
- 答** 五反田駅周辺アクションプランの中で検討していく。

一般質問

新妻さえ子 議員 (公明)



教育について

- 問** 文部科学省は小学校におけるプログラミング教育を、平成32年から必修化すると発表したが、先駆的にプログラミング教育を進めてきた京陽小学校での成果と課題は？
- 答** プログラミングを通して筋道を立てて考えを発表する活動により、自分の考えに自信を持ち、話し合い活動に積極的に参加するなど、主体的に学ぶ子どもの姿が見られた。一方、各教科の狙いに即してプログラミング教育をどのように位置づけるかが課題となっている。
- 問** 必修化に当たり、指導・支援員が不足しないよう、地域や民間の力をかりてICT支援員を配置することも必要と考えるが、所見を。
- 答** 学校地域コーディネーターが学校と企業をつなげ、実践している例

- 問** 視覚障がい者及び弱視者の意思疎通支援について
- 問** 代読・代筆支援は、障がい者にとどまらず、高齢者など日常生活で読み書きに不自由のある方には欠かせない。区役所や地域センターの窓口で守秘義務を守るために取り組んでいることは何か。
- 答** カウンターの仕切り板や、相談の内容に応じて個別ブースを活用するなど配慮をしている。また、平成30年度には、会話を第三者に聞き取りにくくするスピーチプライバシー機器を地域センター3か所にモデル的に導入する予定である。

男女共同参画センターと連携した防災対策強化について

- 問** 男女共同参画の視点を反映した避難所運営の具体例として、母子世帯、子どもに配慮したエリアの設定等を反映するための取り組みは？
- 答** 全ての避難所に専門アドバイザーを派遣して施設を確認した上で、要配慮者や女性等、多様な視点への配慮を含むさまざまな課題を、現行の避難所運営マニュアルの改定に反映していく。

安藤たい作 議員 (共産)



超高層再開発は区民の願いではない。住友や三井など大企業の儲けのための街壊しは止めよ

- 問** 区は一握りの大手不動産会社と組んで超高層再開発を進め、日照、風害や都市インフラのパンク、住民の分断までもたらしている自覚があるのか。
- 答** 大崎駅西口F南地区は、木造密集



税金も投入され広がる超高層再開発 (撮影：質問者)

- 問** 障がい者雇用について、企業へどのような支援を行っているのか？
- 答** 情報提供や職業指導など様々な相談に対応し、支援していく。
- 問** 働く世代のがん患者の復職についてどのような取り組みを？
- 答** 社員の健康管理の重要性を訴え、正しい知識を得られるよう普及啓発を行い、理解を進めていきたい。

教育について

- 問** プログラミング教育について、外部人材の活用を含め、どのように取り組むのか？
- 答** 平成30年度から6校で推進し、外部講師や地域ボランティアの活用も含めて全校展開に活かしていく。
- 問** ダイバーシティの取り組み
- 答** 働き方改革を進める企業に対しての支援の取り組みは？
- 答** 改革に取り組み企業に対して奨励金を交付するなど拡充を図る。
- 問** 公契約について
- 問** 今後の公契約の取り組みは？
- 答** 新たな仕組みを検討していく。
- 問** まちづくりについて
- 問** 五反田のまちづくりについて、地域住民はもちろん、在勤在学の方の声も反映するべきと考えるが？
- 答** 五反田駅周辺アクションプランの中で検討していく。
- 問** 防災と偽り、住民が望まない道路に882億円の税金投入。特定整備路線を推進する区長の責任を問う
- 問** 29号線など、この道路は区長が進めると言ったから進み、住民は追い出され、苦しんでいる。なぜ区長は自ら手を挙げたのか。
- 答** 東京都によって木密地域不燃化10年プロジェクトが策定された。区は都と連携して早期にこうした地域課題を解決することが重要だと考えている。
- 問** 教員のやりがいと命を削る多忙化を解消し、子どもに豊かな教育を
- 問** 区のタイムカードは休日出勤ではエラーとなる。休日出勤を把握するためにタイムカードを打刻できるようにすべき。
- 答** 土日授業日等のタイムカードによる勤務時間管理以外の在校については、一律に勤務とは言えないものもある。教員からの報告の徹底など、適切に在校時間を把握することは大切。
- 問** その他の質問
- 答** 区営住宅増設と家賃助成を